



2026年5月14日

各位

会社名 カバール株式会社  
代表者名 代表取締役社長 谷郷 元昭  
(コード番号：5253 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役 CFO 金子 陽亮  
(TEL 03-6280-4036)

## 特別損失の計上、通期業績予想と実績値の差異 及び役員報酬の自主返納に関するお知らせ

当社は、2026年3月期決算において、下記のとおり特別損失を計上いたしました。また、2025年5月13日に公表いたしました2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の業績予想値と実績値に差異が生じたので、それぞれ下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上について

当社が開発を進めていた「ホロアース」関連のソフトウェア資産等について、開発方針の転換および現行サービスの終了に伴い、帳簿価額の全額を減損処理することを決議し、当該3,199百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

今回の決定は、当該プロジェクトで得られた技術的成果を既存事業へ集約し、当社の提供価値の中核を担うタレント活動の支援および表現技術の深化へ経営資源を再配分する構造改革に基づくものです。蓄積された知見を有効活用し、中長期的な収益性の向上と持続的な成長を実現してまいります。

#### 2. (1) 2026年3月期通期業績予想値と実績値の差異(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 52,500	百万円 8,200	百万円 8,200	百万円 5,700	円 銭 86.82
実績値(B)	49,330	7,056	7,068	3,016	45.95
増減額(B-A)	△3,169	△1,143	△1,131	△2,683	
増減率(%)	△6.0	△13.9	△13.8	△47.1	
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	43,401	8,001	7,962	5,559	88.70

#### (2) 差異の理由

売上高につきましては、米国の通商政策変更に伴う関税リスクによる海外向けEC売上の減速、ならびにタレント構成やコミュニティ環境の変化等を背景とした配信および自社ECにおける短期的な調整局面により、前回発表予想を下回る結果となりました。

各段階利益につきましては、期初計画に対してSCMをはじめとするコスト削減施策の効果によって、前回発

表予想を超える進捗であったものの、早期の資産適正化を目的として、2023～2024年生産のSKUを中心とした低回転在庫について除却および評価減を実施し、売上原価として1,856百万円を計上したこと等から、営業利益および経常利益が前回発表予想を下回りました。さらに、当期純利益につきましても、上記「1. 特別損失の計上について」に記載した特別損失を計上したことにより、前回発表予想を下回る結果となりました。

なお、今期の資産適正化に伴う施策の詳細につきましては、本日公表の「2026年3月期 決算説明資料」をご参照ください。

### 3. 役員報酬の自主返納について

当社は、将来の持続的な成長に向けた構造改革に伴う資産の適正化を実施したものの、これまでご期待いただいたファンの皆様や関係各位への影響、ならびに2026年3月期決算における財務的影響を重く受け止め、経営責任を明確にするため、対象役員より以下の通り役員報酬を自主返納する旨の申し出があり、これを受け入れることとしました。

#### (1) 内容

代表取締役社長： 月額基本報酬の20%の2ヶ月分に相当する額を自主返納

取締役CTO： 月額基本報酬の20%の2ヶ月分に相当する額を自主返納

なお、その他の常勤取締役につきましても、2026年3月期の業績結果を反映し、定時株主総会後の改選等を経て、当事業年度の報酬額は前年比で減額となります。

#### (2) 実施時期

当事業年度内において実施を完了いたします。

当社は、今回の資産適正化の決断を契機として、より一層の経営基盤の強化を図るとともに、中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。